

発行：ひとちなかの環境を良くする会
 会長 小川 和 昭
 編集：広報委員会
 監修：ひとちなか市環境保全課
 TEL：029-273-0111 (内3312)

環境から版

森 林 保 全 活 動 10年の歩み

本会の森林保全活動が、今年で10年を迎えました。ご協力をいただきありがとうございました。10年の歴史を紹介いたします。これからも皆様のご参加をお願いいたします。

〈竹林間伐〉

活動回数：56回
 参加人数：延べ804名
 作業面積：約5,000m²

活動予定：1月～3月 第3土曜日
 時間：9時30分～正午
 場所：美田多地区
 参加費：200円(昼食費)
 連絡先：090-2565-2634(磯前)

2010

・会員から美田多の風致地区である竹林が荒廃しているという問題が出され、モデルケースとして竹林の間伐を、所有者の協力を得て実施することになった。

・森林保全活動の一環として、老若男女の参加を目指した。

(市)消費生活展に参加。間伐した竹から作った、竹とんぼ、竹ぼっくり、ぶんぶんごま、万華鏡、竹踏み、孫の手を展示、プレゼントしている。

2011

福島原発からの放射能レベルが高くなり、竹林を測定しながら間伐を続けた。

〈篠竹刈取り〉

活動回数：27回
 参加人数：延べ195名
 刈取り本数：12,212本
 刈取り面積：約1,500m²

活動予定：1/30(土)、2/28(日)、
 3/14(日)
 時間：10時～正午
 連絡先：029-285-7636(黒澤)

2012

多良崎城跡公園の景観を保つため、篠竹刈取りを始めた。

多良崎城跡公園で、講師を招いて自然観察会を始めた。

2013

名平洞に、竹いかだを作り水生植物を植えて水質浄化活動の協力をした。

2014

名平洞公園西側斜面に植栽を始めた。アジサイ、ネズミモチ、シラカシ、サクラ、マツを植えた。

〈自然観察会〉

開催回数：6回
 参加人数：延べ150名

2020

使い捨て!

STOP

お買い物には
マイバッグ

割り箸もろわす
マイおはし

ペットボトルじゃなくて
マイボトル

紙コップやめて
マイカップ

できることからはじめよう!!

ひたちなか市の環境を良くする会

国内では、レジ袋が近年まで年間約305億枚が生産されており、1日約

★お買い物には **マイバッグ**

ストップ **使い捨て**

ペットボトルやレジ袋などの使い捨てプラスチックによる環境汚染が世界的に問題になっていきます。

本会は、地球温暖化防止、自然環境保護や環境にやさしい資源循環型まちづくりを目指して、会で開催するイベントなどにおいて左のポスターを掲示しています。

8300万枚、一人あたり1日約1枚を消費していることとなります。レジ袋は「燃やせるごみ」として捨てられ、燃やすことにより温室効果ガスの一つである二酸化炭素が発生します。

資源の有効活用、ごみの減量化、地球温暖化防止の観点から、7月からレジ袋有料化が全国的に始まりました。ひたちなか市では全国に先立ちスーパーマーケットなどでレジ袋の有料化となり10年が経過しました。市内では、それに伴いレジ袋の辞退率は84%(令和元年)になっています。これからも「マイバッグ・エコバッグ」を利用しましょう。

★割り箸もろわす **マイおはし**

割り箸は、日本国内で年間約250億膳、一人あたり約200膳の割り箸を使用していることとなります。その9割は輸入であり、輸出国は、森林保護を理由に生産を制限し、近い将来、輸出禁止を視野に入れていると発表しています。使い捨ての割り箸は、ごみの増加になりますので「マイおはし」を利用しましょう。

★ペットボトルじゃなくて **マイボトル**

ペットボトルは、石油資源から生産されます。ペットボトルの分別回収率は約9割で、繊維、シートやペットボトルなどに再生されています。しかし、回収されなかったものがごみとして放棄され、近年世界的に問題になっている海洋プラスチックごみにも含まれています。海洋プラスチックごみは、海岸環境悪化の問題や、生態系への影響、船舶航行の障害を起こします。石油資源の節約と、ごみによる環境汚染を防ぐため、ペットボトルの利用を控えて、繰り返し使えるマイボトルやマイカップを使いましょう。

わがまちの環境活動

日本のプラスチックごみは年間903万トン発生しています。さて、ひたちなか市では? と思い立ち、廃棄物対策課に現状を尋ねてきました。

Q 市のプラスチックごみは以前と比べて増減はありますか?
A 分別回収されたプラスチックごみは、年に340〜350トンで推移し横ばい状態です。

Q プラスチックごみは、市ではどのような手段でリサイクルしていますか?
A 日本容器包装リサイクル協会にプラスチックごみの処理を委託しています。そこでの費用の多くは特定事業者(プラスチックを利用・製造する事業者)が負担しています。

Q プラスチックごみを減らすための取り組みは?
A マイバッグを持参してもらい、レジ袋の使用を減らす取り組みを行っています。

脱炭素社会の実現のために私たち一人ひとりができることから行動しましょう。まずは市作成の「家庭ごみの正しい出し方」を参照し、活用しましょう。



おうちで「エコ」していますか？
やってみませんか「エコライフの見える化」

本会では、温暖化防止に少しでも貢献しようと、「エコ」の度を数値化し、生活の仕方を見直す「エコライフの見える化」活動を続けています。

この活動の参加者は、まず「事前うちエコ診断」を受け、その診断結果を基に、各自、下に示したエコライフ実践項目を選んで、生活の改善を實際に行います。その結果を持ち寄り情報交換します。(来年1月に予定)

今年の参加者9名は、8月に県の「クールアースいばらき実施事務局」へ、1年間のエネルギー消費状況を含めて、「事前うちエコ診断」(無料)を申し込みました。

9月に事前エコ診断会が開かれ、長山診断士による「ウィズコロナ時代の生活様式」等のミニ講演を聞いた後、個別に「診断ソフトによるエコ



うちエコ診断会(ふあみりこらぼで)

対策の提案」を受領しました。診断は年間のCO₂排出量で評価されます。県内の全受診者中、家族構成を考慮した上で、CO₂の排出量が

最も少なかった方が、今回診断された中

診断後、各自が選択した実践項目について、1か月ほどの期間、経費等(例えば光熱費、車の燃費、生ごみ処分量など)のデータを取りま

見える化エコライフ実践項目

- ① 緑のカーテンで省エネ
- ② LEDへの買換え等で節電
- ③ 燃費計算でエコドライブ
- ④ 雨水タンクや風呂水で節水
- ⑤ 段ボールコンポストでごみ削減
- ⑥ ストップ使い捨て など

環境よもやま 4コマ



パパ、困惑…。

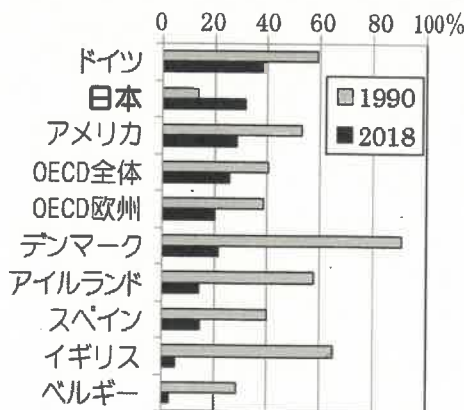
本会・温暖化防止分科会 紹介

当分科会は、会員の内10名が所属しており、ほぼ毎月第1土曜、9時半から正午まで「ふあみりこらぼ」で分科会を開いています。主な活動は、地球温暖化防止をテーマにした「やってみませんかエコライフ」(上記参照)、「緑のカーテンでエコチャレンジ」(4面参照)です。

また、2か月に1回のペースで参加者が輪番で講師となり、勉強会を行っています。最近のテーマは、「エネルギー問題」や「プラスチックごみの海洋汚染」等です。講師が用意した資料の中には、ちょっと気になるデータや目から鱗という情報も少なくありません。

その一例が、下の石炭火力発電のデータ。石炭を用いた発電は他と比較して、同じ発電量あ

発電量に占める石炭火力発電の割合



(IEA: World Energy Balances 2019 より作成)

第6回「緑のカーテンでエコチャレンジ」報告

8月に実施した第6回「緑のカーテンでエコチャレンジ」に全中学校区から合計101件(総育成面積約1700㎡)の応募がありました。

6、7月の天候不順の苦勞や8月の天候回復による緑のカーテンの成長が、写真とともに寄せられた。応募者全員の写真で2枚のパネルを作成。10月31日から約2週間、ふりかざり展示した。



来館者から「涼しそうで、きれいですね。」「来年はぜひ緑のカーテンの講習会に参加してみたい。」「感想や「種はもらえるの?」の質問が本会に届きました。

「緑のカーテン」 私たちも取り組んでいます ⑤

市立市毛小学校

本校では、平成24年度頃に琉球アサガオのグリーンカーテンを始めました。当時の校務員さんが育て方に詳しく、丁寧に世話をしていたそうで、今の校務員さんもそれを引き継いでくれています。

校務員さんは、お世話のポイントは、春に液体肥料を与えることと、冬場は地面から20cmの所で切っておくこと、また、苦勞は校舎2階まで伸びたつるの枯れた部分の取り外し作業が大変であることと話していました。

琉球アサガオは、同じ株から毎年新しいつるが出てくる多年草で、青や紫色の花が朝だけでなく夕方まで楽しめます。

また、このグリーンカーテンは、部屋の室温上昇を抑える効果があり、学校にエアコンがなかった時には、音楽室が涼しく、授業や金管部の活動がしやすかったようです。

今では市毛小のシンボルとも言えるグリーンカーテン。これからも大切にしていきたいです。(寺田 明彦 校長)



(育成面積：126㎡、二中学校区)

応募された方には、12月初旬に今回の報告集をお届けしました。

会員だより

道端に捨てられたごみを見て、気持ちの悪い人はいませんか。特にペットボトルや包装プラスチックは風雨で海に運ばれば、波や紫外線で壊れて細かいマイクロプラスチックになり、海洋を汚染して生物に悪影響を与えます。店で買ったものは外装や中身の個包装もみな大切な資源です。持ち帰ればリサイクルできますし、きれいな街が維持できます。一石二鳥です。皆さん、ごみの無い街にしようではありませんか。(河村)



ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

 <p>人と自然への思いやりを大切に 勝田環境 KATSUTA KANKYO</p>	 <p>社会福祉法人 新設 いこい苑 お庭のことなら マキプランニング ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 Maki planning http://www.makipla.com/</p>	 <p>HiKOKI 工機ホールディングス(株)</p>	<p>廃棄物の中間処理施設 KATSUTA 株式会社 カツタ ひたちなか市高野1968-2 TEL (029) 270-3711 http://www.eco-katsuta.com/</p>	 <p>セイエイ ひたちなか馬渡店</p>	 <p>Bio Power 木質バイオマス発電所 (株) バイオパワー勝田 ひたちなか市高野 1974-1 TEL 029-270-3341</p>
 <p>ひたちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひたちなか市新光町103-2 TEL (029) 265-5371</p>	<p>お庭のことなら マキプランニング ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 Maki planning http://www.makipla.com/</p>	 <p>Global Teamwork KOMATSU コマツ 機械工場 〒319-0292 茨城県ひたちなか市 新大塚1-1-1</p>	<p>私たちは、 美しい地球を次の世代へ! のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 御日立製作所水戸事業所</p>	 <p>マルハニチロシーフーズ株式会社 ひたちなか市和田町3丁目1340番地2</p>	 <p>リコーインダストリー(株) 勝田事業所 ひたちなか市武田1060 www.industry.ricoh.co.jp</p>